

## 10月(2023年)のGlobal Sessionのお知らせ

期日:2023年10月9日(月・祝) 10:30~12:00

場所:ガレリアかめおか 3階会議室

ゲスト:Rachel Clark(レイチェル・クラーク)さん

(日系米国人・国連職員・日本訪問の途中で)

コーディネーター:募集中

タイトル:「アーミッシュってどんな人たち？」

参加者:10名くらい

参加費:600円

申し込み:児嶋きよみまで e-mail:[kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp](mailto:kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp)

### レイチェルさんより

「2020年の春、パンデミックの波がNY 界限にも押し寄せ、ハドソン川を見下ろす私の窓からは、マンハッタンに停泊する救急船が見えました。

NY 中で医療に従事する人々に敬意を表する為のブルーエンジェルス編隊飛行も行われました。

その頃から世界 19 ヶ国、約 60 人の仲間が毎週ズームで会議を開き、あの不思議な世界の空気に立ち向かう声明を発表しました。私もその中に加わり、素晴らしい希望を感じながらも、末世的な演出効果の漂うメディア報道にうんざりしていました。

あの年の1月の4週間、私はグアテマラでスペイン語を学び、次の1週間はコスタリカで、その次の1週間はパナマでバックパッキングをして一人旅を経験しました。

3月にはなつかしい友人に会いにカナダのモントリオールまで7時間かけて運転し、帰宅した次の日から国境が封鎖されました。

日々伝えられる深刻なニュースと同時に、それを真っ向から否定するニュースにも触れる機会を得る事ができたのは、それまでに培った国際的な人脈のネットワークがあればこそ、でした。

国際航路客船の洋上通訳として、世界の50 ヶ国以上を巡り、さまざまな文化や考え方に触れた事や、国連の会議を沢山傍聴した経験も、判断の役に立ちました。

私の下した結論は、「あの人たちのルール」に沿って生きる事をしない、と言う事です。

同年4月半ばから毎週末片道7~8時間運転して、NY州北部の「ノースカントリー」と呼ばれる地域に引っ越し先を探しに行きました。9回目のドライブで見つけたのが現在の住処です。

自然に恵まれた美しい環境に一目惚れして、四季それぞれの豊かな恵みを与えてくれるアーミッシュの農家さんたちとの素敵な交流が始まり、彼/彼女らから「持続可能な」暮ら

しを学んでいます。

なぜ国連はこの人たちから学ばないのか？ と疑問に思う事がよくあります。

アーミッシュってどんな人たちなのでしょう？ どうして世界はこの人たちから持続可能な暮らしを学ぼうとしないのでしょうか？

アーミッシュに今更なろうとは思いませんが、取り入れられるコンセプトは沢山あると思います。

そんなこんな思いを、エッセイのように参加者の皆さんと共有できたら、と思います。」